

製品名: PP2C κ ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab16400**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	45kDa

抗原情報

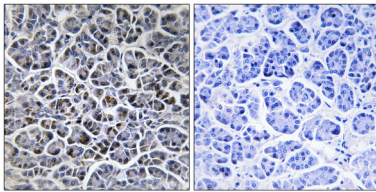
遺伝子名	PPM1K PPM1K; PP2CM; Protein phosphatase 1K; mitochondrial; PP2C domain-containing protein
別名	phosphatase 1K; PP2C-like mitochondrial protein; PP2C-type mitochondrial phosphoprotein phosphatase; PTMP; Protein phosphatase 2C isoform kappa; PP2C-kappa
遺伝子 ID	152926.0
SwissProt ID	Q8N3J5
免疫原	抗血清はヒト PPM1K 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 205-254

背景

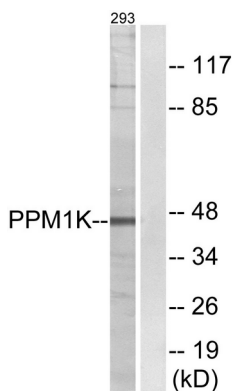
この遺伝子は、Mn²⁺/Mg²⁺依存性タンパク質ホスファターゼである PPM ファミリーのメンバーをコードしています。細胞の生存と発達に不可欠なこのタンパク質は、ミトコンドリアに局在し、ミトコンドリア膜透過性遷移孔の調節において重要な役割を果たします。[RefSeq 提供、2012 年 9 月]、触媒活性: リン酸化タンパク質 + H₂O = タンパク質 + リン酸。、注意: Ref.9 はマグネシウムイオン存在下で PPM1K を結晶化しています。しかし、PubMed:17336929 では、マンガンイオンが存在しない場合には p-ニトロフェニルリン酸に対する活性は見られず、マグネシウムはマンガンの代わりをすることができなかつたと報告されています。、補因子:サブユニットあたり 1 つのマグネシウムまたはマンガンイオンを結合します。、機能:ミトコンドリア膜透過性遷移孔を調節し、細胞の生存と発達に不可欠です。、類似性:PP2C ファミリーに属します。、類似性:1 つの PP2C 様ドメインを含みます。、

研究分野

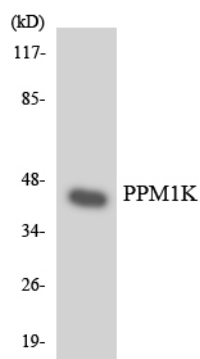
画像データ



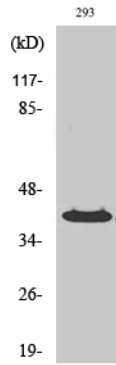
PPM1K 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト臍臓組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



PPM1K 抗体を用いた 293 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンには合成ペプチドでブロッキングされている。



PPM1K 抗体を使用した HeLa 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。



PP2C α ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析